

製品名: PinX1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16159**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	PINX1
別名	PINX1; LPTL; LPTS; PIN2/TERF1-interacting telomerase inhibitor 1; Liver-related putative tumor suppressor; Pin2-interacting protein X1; Protein 67-11-3; TRF1-interacting protein 1
遺伝子 ID	54984.0
SwissProt ID	Q96BK5
免疫原	抗血清はヒト PINX1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 121-170

背景

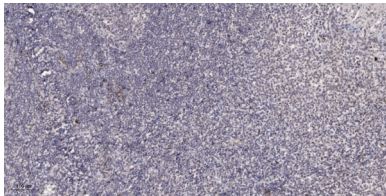
ドメイン: TID (テロメラーゼ阻害ドメイン) ドメインは TERT に結合し、その活性を阻害するのに十分です。機能: テロメラーゼ活

性を阻害します。細胞増殖を阻害し、腫瘍抑制因子として作用する可能性があります。類似性: PINX1 ファミリーに属します。類似性: 1つのGパッチドメインを含みます。細胞内局在: 核小体およびテロメアスペックル内。サブユニット: MCRS1、TERT、およびTERF1に結合します。組織特異性: 普遍的であり、低レベルで発現しています。多くの肝癌細胞株では検出されません。ドメイン: TID (テロメラーゼ阻害ドメイン) ドメインは TERT に結合し、その活性を阻害するのに十分です。機能: テロメラーゼ活性を阻害します。細胞増殖を阻害し、腫瘍抑制因子として作用する可能性がある。類似性: PINX1 ファミリーに属する。類似性: 1つのGパッチドメインを含む。細胞内局在: 核小体およびテロメアスペックル。サブユニット: MCRS1、TERT、TERF1に結合する。組織特異性: 普遍的に存在するが、低レベルで発現している。多くの肝癌細胞株では検出されない。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、DNA/RNA、DNA合成、トポイソメラーゼ

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45分)。